

令和7年第2回定例会 ちとせ市議会だより

令和7年(2025)9月1日発行

- 定例会のあらまし、各委員会の活動状況、議決結果 2～4 ページ
- 一般質問、会派構成 5～14 ページ
- 政務活動費収支報告 15 ページ
- 各常任委員会構成等 16 ページ

議会中継



会議録検索 PC 版



会議録検索
タブレット・スマートフォン版



千歳市の発展のため がんばります!

令和7年5月25日に実施された、千歳市議会議員選挙において、新たに23人が選出されました。



令和7年5月25日の千歳市議会議員選挙において、新たに選出されました23名です。市民の皆様、親しみやすくより身近で信頼される議会を目指すとともに、皆様が安心して暮らせるまち・次世代へつながる千歳市の未来づくりに精いっぱい努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

(千歳市議会議長 松倉 美加)

議会 YouTube
チャンネルは
コチラ!



定

例会のあらまし

●議長に松倉美加議員、

副議長に仲山正人議員を選出

令和7年第2回定例会は、6月27日から7月14日までの18日間の会期で開催されました。この定例会では、令和7年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告10件、議案17件が提出されました。このうち、補正予算にかかわる議案1件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

また、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。その結果、補正予算をはじめとする各議案等について、原案のとおり可決、同意としています。

この定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

令和7年度補正予算

◆一般会計補正予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に
5億3千884万円
を追加

補正予算の内容

・心のふるさと千歳基金積立金
670万円

・定額減税不足額給付金支
援事業費
4億8千150万円

・介護施設等環境改善事業費
600万円

・自立支援給付審査支払等
システム改修事業費
130万9千円

・生活保護適正実施推進事
業費
125万4千円

・新規就農者育成総合対策
事業費
1千316万9千円

・経営体育成支援事業費
2千890万8千円

主な条例

◆千歳市職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一部
を改正する条例の制定につ
いて

妊娠、出産等についての
申出をした職員及び3歳に
満たない子を養育する職員
に対する仕事と育児との両
立支援に関する措置等を定
めるために制定

◆千歳市特定教育・保育施
設及び特定地域型保育事業
の運営に関する基準を定め
る条例等の一部を改正する
条例の制定について

児童福祉法の一部改正に
伴い、引用条文に所要の改
正を行うために制定

◆千歳市公営企業に従事する
企業職員の給与の種類及び基
準を定める条例の一部を改正
する条例の制定について

企業職員が部分休業の承
認を受けて勤務しない場合に
おける給与の減額について所
要の改正を行うために制定

その他

◆財産の取得
シンククライアントシステム
用ソフトウェア
・数量 1式
・取得予定価格
1億327万5千7百円

ロータリ除雪車
・数量 3台
・取得予定価格
8千910万円

救助工作車（II型）
・数量 1台
・取得予定価格
1億7千356万8千999円

小中学校学習者用コンピュ
ータ等
・数量 1式
・取得予定価格
1億2千459万7千円

◆工事請負契約の締結

【工事名】
焼却処理場煙突解体工事

【工事場所】

千歳市美々758番地の54

【請負金額】

2億6千400万円

【請負契約者】

アイグステック株式会社本店

千歳市梅ヶ丘3丁目4番19号

代表取締役 塩谷 政志

◆協定の締結

【協定名】

千歳線南千歳・美々間47k
672m付近美々南通こ線
橋新設に係る工事に関する
協定

【協定目的】

千歳恵庭圏都市計画道路3・
4・45美々南通の道路整備
に伴う千歳線南千歳・美々
間47k672m付近美々南
通こ線橋新設に係る工事

【協定額】

7億2千276万8千円

【協定の相手方】

北海道旅客鉄道株式会社
札幌市中央区北11条西15丁
目1番1号
代表取締役社長 綿貫 泰之

人事

◆議長、副議長の選出
6月27日の本会議において、議長および副議長の選挙を行った結果、指名推選によって、議長に松倉議員、副議長に仲山議員を選出しました。



議長
松倉 美加



副議長
仲山 正人

永年勤続 議員表彰

5月20日に開催された第101回全国市議会議長会定期総会において、落野議員、山崎議員、北山議員、大山議員、五十嵐元議員が永年勤続議員として表彰され、第2回定例会2日目の6月30日に松倉議長から表彰状が伝達されました。

◎議員15年表彰者



落野 章一 議員



山崎 昌則 議員



北山 敬太 議員



大山 益巳 議員

◎議員10年表彰者

各委員会の活動状況

4月～7月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。

総務文教常任委員会

▼4月9日(水)13時
千歳市強靱化計画改訂にかかるスケジュール等についてなど、2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月27日(金)本会議休憩中
正副委員長を互選した。

▼7月1日(火)13時
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定についてなど、令和7年第2回定例会付託議案9件を原案可決とし、千歳市強靱化計画改訂に係る中間報告についてなど、11件の所管事務調査を報告済みとした。

▼7月23日(水)13時
令和6年度指定管理者モニタリング結果報告についての所管事務調査を報告済みとした。

厚生環境常任委員会

▼5月27日(火)13時
令和7年度国民健康保険料の概要について、所管事務調査を報告済みとした。

▼6月27日(金)本会議休憩中
正副委員長を互選した。

▼7月1日(火)13時
千歳市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について、令和7年第2回定例会付託議案1件を原案可決とし、(仮称)大和地区コミュニティセンターの整備についてなど、4件の所管事務調査を報告済みとした。

▼7月24日(木)13時
令和6年度指定管理者モニタリング結果報告等についてなど、2件の所管事務調査を報告済みとした。また、JR長都駅前への交番設置を求めることについての意見書を議会運営委員会に提出することを決定した。

産業建設常任委員会

▼6月27日(金)本会議休憩中
正副委員長を互選した。

▼7月1日(火)13時
財産処分の変更についてなど、令和7年第2回定例会付託議案4件を原案可決とし、除雪車両の更新についてなど、7件の所管事務調査を報告済みとした。

▼7月29日(火)13時
令和6年度指定管理者モニタリング結果報告等について3件の所管事務調査を報告済みとした。

議会運営委員会

▼6月27日(金)本会議休憩中
正副委員長を互選した。

▼6月30日(月)10時
第2回定例会の議事運営についてを決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼7月8日(火)10時
第2回定例会の議事運営についてを決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼7月14日(月)11時
第2回定例会の議事運営についてを決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

第2回定例会 議決結果概要・議案の賛否 <small>※議席番号「1」松倉 美加 議員は、議長のため、賛否は「-」としています。「○」＝賛成 「×」＝反対</small>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	委員会	議決結果
		松倉 美加	今井 ひろみ	小川 陽平	佐々木 昭	相沢 晶子	北山 敬太	吉谷 徹	渡部 謙太郎	北原 偉男	岩満 順郎	大山 益巳	今野 正恵	平川 美由紀	宮原 伸哉	仲山 正人	山口 康弘	山崎 昌則	佐々木 雅宏	古川 昌俊	落野 章一	丸岡 伸幸	坂野 智	梅尾 要一		
報告 第1号	専決処分の報告について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
報告 第2号	繰越明許費繰越計算書の報告について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第3号	予算繰越計算書の報告について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第4号	例月現金出納検査の結果について (令和7年2月分)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第5号	例月現金出納検査の結果について (令和7年3月分)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第6号	例月現金出納検査の結果について (令和7年4月分)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第7号	定期監査の結果について (令和6年度財務第3回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第8号	令和6年度公益財団法人ちとせ環境と 緑の財団の経営状況を説明する書類の 提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第9号	令和6年度公益財団法人千歳青少年教育 財団の経営状況を説明する書類の提出に ついて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
報告 第10号	例月現金出納検査の結果について (令和7年5月分)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済	
議案 第1号	令和7年度千歳市一般会計補正予算につ いて(第1回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別 議案	原案可決
議案 第2号	千歳市職員の勤務時間、休暇等に関する条 例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第3号	千歳市職員の育児休業等に関する条例の 一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第4号	千歳市税条例の一部を改正する条例の制 定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第5号	千歳市特定教育・保育施設及び特定地域型 保育事業の運営に関する基準を定める条例 等の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境 委員会	原案可決
議案 第6号	千歳市公営企業に従事する企業職員の 給与の種類及び基準を定める条例の一部 を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設 委員会	原案可決
議案 第7号	財産の取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第8号	財産の取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第9号	財産の取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第10号	財産の取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第11号	財産の処分の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設 委員会	原案可決
議案 第12号	財産の処分の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設 委員会	原案可決
議案 第13号	工事請負契約の締結について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第14号	協定の締結について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設 委員会	原案可決
議案 第15号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の 策定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教 委員会	原案可決
議案 第16号	監査委員の選任につき同意を求める ことについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
議案 第17号	公平委員会委員の選任につき同意を 求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
意見案 第1号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確 保等を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

市政を

問う

今定例会では、7月8日から11日の4日間にわたり一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

☆自民党議員会

- 渡部 謙太郎 議員
- 北原 偉男 議員
- 山崎 昌則 議員
- 岩 満順 議員

☆公明党議員団

- 今野 正恵 議員
- 平川 美由紀 議員
- 宮原 伸哉 議員

☆無所属クラブ (維新・市民)

- 丸岡 伸幸 議員

☆ちとせ未来クラブ

- 佐々木 昭 議員
- 小川 陽平 議員

☆日本共産党

- 吉谷 徹 議員

☆参政党

- 今井 ひろみ 議員

☆無所属

- 北山 敬太 議員
- 相沢 晶子 議員



自民党議員会
渡部 謙太郎
議員

子育て支援

問 ①公立認定こども園ひまわりの建物は1969年に設置され56年が経過している。今後も保育環境に適した施設として運営するためには、適切な施設整備が必要と考えるが、施設整備における今年度の具体的な取組を伺う。
②本年4月、病児・病後児保育の専門施設「千歳こどもデイケアルーム」が移転し、受入定員は従来の3人から5人へ拡大した。本事業を子育て世帯により身近に感じてもらうための取組について伺う。
③子育て世帯からは、「天候に左右されず安心して遊べる屋内の

市営住宅の活用

答 市長 ①本年3月に策定した千歳市こども計画で公立認定こども園については、2園体制を維持することを基本とした上で、施設設備の老朽化が進んでいる認定こども園ひまわりについては、新築建替など施設整備のあり方について、早期に検討を進めることを明記した。
②こどもデイケアルームは通常時の受け入れに加え、特に感染症流行時の受け皿に資するなど、その存在は非常に大事であり、安心して利用いただける施設であることから、より丁寧な周知等を通じ、認知度の向上にも努める。
③子どもの健やかな成長を支える観点からも公益性が高く、設置・運営について公共として市が関わる必要があると考える。また、場所の確保については、民間施設の一部を借り上げ

げて実施することも含め、市内での早期の実現に向け、鋭意取り組む。
問 市は、市営住宅の空き住戸を活用した「目的外使用」による、学生の居住支援と支笏湖地区の子育て世帯に向けた環境の確保策を示した。私は、昨年12月の令和6年第4回定例会の一般質問にて、学生居住の確保として、市営住宅の目的外使用を提言したことから、今回の実現への動きに感謝している。そこで3点伺う。
①これまでの市営住宅の周知・募集方法とは異なる新たな取組。
②目的外使用の入居者に、ぜひ地域の一員として生活や地域活動をしてもらうため、自治会との円滑な関係構築を積極的に支援する取組。
③今後、市内の諸課題の解決のために市営住宅を柔軟に活用する取組も有効と考えるが、市の所見を伺う。

答 市長 ①市内高等教育機関と連携し学生に広報を行い、広報ちとせやHPなどを活用し、周知や募集を行う。支笏湖子育て住宅の周知については、市内在住の方や今後市内で働く予定の方など、幅広く情報が届くよう、広報ちとせや市HPを活用する。
②学生の募集にあたっては、地域活動の一つとして自治会活動などに積極的に関与してもらうことを想定しており、自治会等へ文書や面談等による働きかけを行い、入居する学生には自治会活動等への参加状況について、年に1度程度、文書や面談等により確認していく。支笏湖子育て住宅については、地域振興会や小学校等の活動を通じて円滑な関係構築ができるよう、関係者に働きかけを行う。
③長年にわたり応募がない一部の空き住戸について、活用が出来ないか、関係機関の意見を伺いながら検討する。



自民党議員会
北原 偉男
議員

救急体制

問 消防が有する救急隊の配備基準は2万人の人口に対して1隊であり、10万人を超えると5万人毎に配備基準が1隊増加する。千歳市は人口10万人に満たないため、救急隊の配備数は4隊が基準となる。現在の市内の配備状況としては、支笏湖温泉街に1隊配備しているほか、市街地では本署（東雲町）、西出張所（上長都）、向陽台出張所（向陽台）に各1隊の合計3隊が配備されている。千歳市の特性上、支笏湖温泉街と市街地は車両で約30分離隔しているため、現実的には市街地には

3隊しか配備されていない状況である。支笏湖温泉街への1隊の配備は必ず必要となるため、市街地に1隊を追加し4隊を配備することについて考えを伺う。

答 市長 市街地に救急隊を4隊配備することについて、現在、年間約4700件の救急事案に対応しているところであり、本市の救急体制は4隊の救急隊を本署及び3か所の出張所に配備し、このうち、向陽台出張所においては消防隊と救急隊が兼務している状況にあることから、まずはこれを解消し、常に安定的に4隊運用ができるよう取り組んでいるところであり、増隊については救急需要と本市の救急対応能力のバランスを見ながら判断していく。

熱中症対策

問 ①毎年、北海道の千歳市において

も夏の暑さが厳しさを増している。本年6月1日に労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が事業者に義務づけられた。市民向けの熱中症対策が必要と考えるが検討されているのか。②また、千歳市として独自に市街地等の暑さが顕著なところで暑さ指数を測定し、市民に注意喚起することが市民の健康を守る上で重要と考えるが所見を伺う。

答 市長 ①気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律により、令和6年度からクーリングシエルターを、市町村長が指定できる旨の規定が設けられた。この法改正を踏まえ、本市においては、令和6年7月1日に、公共施設6か所をクーリングシエルターに指定し、その後、公共施設2か所、民間施設3か所を追加で指定するなど、クーリングシエルターの拡充を図った。また、「熱中症警戒アラート」発表時には、市の

ホームページやSNS等を活用し、当該情報が発表されたことを伝達するとともに、熱中症の予防方法や応急処置などの情報を発信するほか、熱中症警戒アラートより一段階上の「熱中症特別警戒アラート」が発表された際には、これらの取組に加え、防災行政無線を活用した周知を行うこととしており、市民の熱中症による健康被害の防止に努める。②地方公共団体が気象観測を行う場合については、気象業務法において「技術上の基準に従って行うこと」「気象観測施設の設置の届出を行うこと」「検定に合格した気象測器を使用すること」の条件を定めており、暑さ指数の測定には、これらの条件を満たしたうえで、国と同様に24時間、365日体制で厳密な運用管理が必要となる。このことから、市が一般的に市販されている測定機器を用いて測定した結果を市民に周知することは、難しいと考える。



自民党議員会
山崎 昌則
議員

防犯灯LED灯の更新整備

問 ①水銀灯からLED灯への変換を実施し、10年間で7373灯約99.2%が変換された。これにより、電気料金が

が10年間で約4億5千万円の削減とされ、効果大であった。LEDの寿命は15年前後と言われ、今年度で13年が経過しており、今後市内各防犯灯の更新が一気に来るのが予想されることから、来年度以降の予算組みをしておくべきと思うが考えを伺う。②防犯灯何灯もの寿命更新が必要となり、多額の経費が掛かることが予想される。LED灯の更新整備にかかる町内会負担を0%または5%程度に、新設負担を10%に変更出来ないか伺う。

答 市長 ①LEDの寿命は約15年、6万時間と言われており、初期の全光束（ルーメン）、いわゆる照明器具そのものの明るさが、70%程度になるまでの総点灯時間であることから、水銀灯や蛍光灯などと違い、時間の経過とともに突然切れることはないと考えているが、器具の故障等により、点灯しなくなるのが想定されることから、現状把握に努めるとともに、町内会等の意見を伺いながら市全体の予算編成の中で、必要な予算の確保に努める。

②防犯灯更新時の町内会負担について、防犯灯は地域の実情に応じて町内会が必要と考える場所に設置するもので、管理とともに一定の負担をお願いしている状況にある。次期更新時に向けては、これまでの実施状況や昨今の物価上昇等を踏まえ、予算の確保や補助金等の活用も含め、町内会負担のあり方について、今後、検討していく。

長都駅前への 警察派出所の設置

問 私は、これまで市民が安全で安心して生活していくため、交番の設置などの防犯体制の構築や防犯灯などの整備について要望しており、特に長都駅前交番の早期設置についてはこれまで多くの議員が要望してきたところであり、長都駅周辺地域の安全で安心した生活の実現は議員全員の総意である。また、この地域は今後も多くの人口増

加が見込まれる地域で、新たにみどり台小学校が開校されるなど、地域住民から新たな交番設置をという思いは年々強くなっている。①これまで要望がどの様に行われて来たのか経過を伺う。②また今後も街が発展していくことが想定され、交番の設置についてはこれまで以上に強い要望が必要と思うが今後の見通しを伺う。

答 市長 長都駅前交番の設置要望は、JR長都駅周辺地域の人口増加と大型商業施設の立地に伴い、平成12年度に

地域住民による交番設置への声が市議会を取り上げられ、これ以降、平成17年度に長都駅前町内会、平成21年度に千歳市町内会連合会から、それぞれ市に要望書が提出され、平成22年度には、おさつ団地、長都駅前、ゆうまいの3つの町内会から千歳警察署に要望書と署名簿の提出があった。また、平成26年度には、北海道知事、北海道公安委員会、北海道議会議長に対し、市議会の総意として「JR長都駅前への交番の設置を求める意見書」が提出され

た。市では平成19年度から継続して要望活動を行っており、平成28年度からは、市と市議会が一体となって実施している。②令和6年度の要望の際に千歳警察署から、JR線北側地域での地域警察活動の拠点が必要であるとの前向きな回答が得られ、北海道警察本部において、交番設置についての具体的な検討を行っていると同つ。千歳警察署や北海道警察本部をはじめ関係機関と更に連携を密にし、長都駅前交番の早期設置に取り組んでいく。



教育行政

問 8年前、私が初めての選挙に手を挙げて戦った選挙中において、アレルギーの子どもさんをもった保護者の方から「何とかアレルギーをもつ子どもに対応した給食の提供をお願いできませんか」と言われ、当時、初当選のま

さしくこの時期の第2回定例会で初めて一般質問に立ち、この学校給食に関する質問をしたのを記憶している。①今回の選挙戦のなかで多くの保護者の方から「給食センターはいつできるのですか」「何かに美味しい給食の提供はできるのですか」などの声を頂き、

現在の進行状況について所見を伺う。②新学校給食センターが新設した場合の現在よりも提供できる給食の内容について所見を伺う。

答 教育長 ①新学校給食センターの整備・運営事業者の募集に向けて、実施方針及び要求水準書の作成を進めている。今後は、令和7年度中に実施方針・要求水準書の案を公表し、民間事業者からの質問や意見を受け付け、令和8年度に事業者の募集・選定を行い、令和11年度の夏季休業後の供用開始に向けて、計画的に事業を推進していく。②新学校給食センターでは、切り身の状態で仕入れた肉や魚を焼くことができるようになるため、豚の生姜焼きや魚の照り焼きなど、様々な味付けの焼き物を提供することが可能となる。また、冷菜調理が可能となることから、ポテトサラダやフルーツヨーグルト和えなどの和え物を提供することができるようになる。アレルギー対応につい

ては、誤食事故を防ぐため、アレルギー対応食専用室を設け、卵・乳の除去食を提供する。

各種競技場の整備

問 千歳市には、他市に比較して誇れる青葉公園内に多種にわたる各種競技場が存在している。また、本市は「スポーツ宣言都市」でもあり、各種競技場を使用した大会を開催して賑わいの創出や経済効果を得ている市でもある。また、各種競技場の整備についても各関係団体からの要望に基づき、小規模の整備を継続してきたことを認識しているが、今回更なるまちの発展に資するための整備に関して質問をする。北海道日本ハムファイターズの2軍を北海道に移設するとの報道があったが、横田市長は、今回の新聞・マスコミの報道や他市長の発言などを確認して、市長としてこの誘致に対して手を挙げる気持ちはあるのか、ないのか所

見を伺う。多くの市民の皆さんは各種競技場の整備に関心があり、そして、日本ハムファイターズの誘致について期待をしているが、市長の所見を伺うとともに、是非誘致に前向きな答弁を期待する。

答 市長 北海道日本ハムファイターズ球団2軍本拠地の札幌圏への移転は、移転先の地域のみならず北海道全体の活性化に繋がりが、大変喜ばしいことと感じている。記者会見で公表された条件としては、エスコンフィールドや新千歳空港からのアクセス面などであり、今後、球団において各自治体との協議が始まるものと考えている。今回の2軍の移転の構想は、相当大きなスケール感と思ったところであり、その規模内容に見合った土地の確保や市の負担など、球団側のニーズや諸条件の意見交換を行う中で、まずは確認を必要があるかどうか確認したうえで手を挙げるかどうか判断していく。



公明党議員団
今野 正恵
議員

クマ対策

問 ①クマ対策として情報発信は大変重要であり、クマの出没情報に関して、市の公式LINEで情報を得ることが出来る。また、現在市内小中学校の保護者が登録しているマチコミというアプリがあり、様々な情報を手で出来るが、マチコミから自衛隊の敷地内でのクマの目撃情報が発信されたが、公式LINEでは発信されなかった。クマの目撃情報は命に関わるとても大切な情報であるので、マチコミだけでなく、公式LINEでも情報共有すべしと考えるが、所見を伺う。②自衛隊

の敷地内での目撃情報があり、クマの痕跡も残っているとの情報も伺っている。自衛隊の敷地のすぐ隣は学校や公園、住宅街となっている所もあるので、自衛隊としっかりと連携を密にするとともに協力しあつてクマ対策に取り組んでいかなければならないと考える。例えば桜木3丁目であれば住宅の境目の塀の所に樹木や草がうっそうとしており、昼間でも薄暗くなっているの、見通しがよくなるよう樹木の伐採や枝払い、草刈り等行つていくこともクマ対策になるのではないかと思ひ、クマの痕跡があつた場所にカメラを設置して監視する等々も有効ではないかと考える。市として自衛隊との連携とクマ対策についてどのように考えているのか、所見を伺う。

答 市長 ①今後の情報発信については、住宅地に近接する自衛隊敷地内で目撃情報があつた場合には、可能な範囲で情報を発信できるよう自衛隊の理

解と協力を求めていく。②これまでも自衛隊敷地周辺においてヒグマの目撃情報があつた場合には、自衛隊との情報共有に努めているが、更に、住宅地と近隣する自衛隊敷地内の草木の刈払いや、移動経路を監視するためのICCT機器の設置等について、自衛隊と、今後、協議を進めていく。今後とも、警察やクマ防除隊と連携し、新たに導入したICCT機器を活用したヒグマの出没抑制を図るとともに、目撃情報に迅速に対応し、市民の安心安全の確保に努めていく。

保育料の負担軽減

問 少子化がますます進んでいる昨今において更なる子育て施策に取り組んでいかなければならないと感じており、最近はお母さんが増えてきているので、保育料の負担軽減というのは大変有効的であると考える。札幌市

や石狩市では昨年の4月より第2子以降全体的にお子さんの保育料が無償化となっている。千歳市においても第2子以降の保育料については、収入や上のお子さんの年齢に関係なく、保育料の完全無償化を実施してほしいと切に願うものであるが、所見を伺う。

答 市長 経済的支援、経済的負担の軽減策について、現在、市に対して子育て世帯から多く寄せられている声が「保育料の軽減」、具体的には、保育料の第2子完全無償化である。この保育料の第2子完全無償化は、平均年齢が若く、子育て世帯が多い本市について、特に、複数のお子さんがある多子世帯への支援に繋がるほか、少子化対策などにも資する取組であると考えており、本市で安心して子育てしていただくよう、現在、次年度に向け、さらなる子育て支援施策の取組の一つとして、具体的に検討を進めているところである。



公明党議員団
平川 美由紀
議員

緊急サポート ネットワーク事業

問 これまで公明党は「女性力」を發揮できる社会の構築を主張してきた。その実現のためには、働きながら子育て

てできる多様な保育サービスの提供が不可欠である。特に働く親の大きな悩みは、子どもが病気になった時の対応である。緊急サポートネットワーク事業は、子どもの病気や急な残業・出張などが生じた時、地域の会員同士で子どもの緊急的な宿泊や預かりを行う。利用料金は、預かりで1時間千円、宿泊は3歳未満1泊1万2千円、3歳以上1泊1万円、その他に交通費や食事が代がかかる。気軽に利用しやすい金額であれば使いたいという方はもつと

り、日曜日・祝日にお子さんを預ける休日保育事業など、多様化する保育ニーズに対応するため様々な事業を実施しているが、お子さんの急な発熱により保育所等に預けられないとき、緊急な残業や保護者の急病等により、お子さんを一時的に預ける必要が生じたなど、他の子育て支援事業では対応でき

ない家庭の支援のために、ファミリー・サポート・センター事業の一環として緊急サポートネットワーク事業を実施している。緊急サポートネットワーク事業については、一律の利用料を設定しているところであるが、現在、ファミリー・サポート・センター事業では、ひとり親世帯については減額を行つていくことから、緊急サポートネットワーク事業についても同様に、ひとり親世帯への減額などについて、今後、検討していく。

指定ごみ袋

問 昨年の4月に道央廃棄物処理組合焼却施設の運用が始まり、ごみ分別の一部変更に伴い指定ごみ袋の利用も変化している。ほとんどのごみが燃やせるごみになり青いごみ袋を使うことが増えた。プラスチック製容器包装は汚れたままだと燃やせるごみになるが、汚れを落とすことでリサイクルされる。リサイクルに回すことでごみを減

らし環境にも配慮できることから、市としても促進していると思う。プラスチック容器を洗って乾かすことが面倒に思う方も多いと推察するが、経済的負担が無ければもっと頑張れると考える。①プラスチック製容器包装の白いごみ袋の無料化と、②使う頻度が減り余っている黄色いごみ袋を、青いごみ袋に交換することに対する見解を伺う。

答 市長 ①指定ごみ袋の処理手数料は、処理に要した経費を青色・黄色・白色の指定ごみ袋毎に設定しているため、白色ごみ袋を無料にした場合白は、他のごみ袋の手数料に影響を及ぼす可能性がある。また、白色ごみ袋の収集状況において、不適切な廃棄物が割合程度混入しており、他のごみ袋との価格差が大きくなった場合は、適正な分別が行われず、安価なごみ袋を使用し排出されることも懸念される。これらのことから、白色ごみ袋を無料とすることは難しいと考える。②指定ごみ袋は、市内の指定取扱店から、家庭な

どの需要に応じて、必要な種類のごみ袋を適宜購入して使用することとしており、指定ごみ袋は購入前にすでに破損していた場合を除き、購入後においては、交換出来ないこととしている。ごみ分別の変更については、半年前から市民説明会の開催、千歳市ごみ分別の手引きの全戸配布などを行い対応してきた。指定ごみ袋を交換する場合は、指定取扱店の意向などを踏まえる必要があり、どのような対応ができるか調査・研究していく。



公明党議員団
宮原 伸哉
議員

不登校対応と
フリースクール

問 ①不登校対応として重要なことの1つに、児童生徒が安心感を得られる居場所の確保があるが、その選択肢として、フリースクールの存在と意義についての見解を伺う。②民間であるフリースクールでは、一部自治体を除き私学助成のような運営補助がないため、経営者側、利用者側ともに経済的負担が大きい。補助に対する当市の考え方を伺う。

答 教育長 ①不登校の児童生徒に対し、学校外における学習活動、教育相談、体験活動など多様な学びの場を提

供するフリースクールが民間施設として運営されており、本市の児童生徒も学校に代わる居場所として市内外の施設を利用してはいる例もあることから、不登校の児童生徒の受け皿の一つとして機能しているものと考えている。②フリースクール事業者および利用する家庭への補助について、本市の不登校対策については、1人でも多くの児童生徒が学校に復帰することを目指し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによる相談体制の充実のほか、校内教育支援センター、学校適応指導教室「おあしす」の体制強化に取り組んでいることから、現時点で、フリースクールなどへの財政的な支援は考えていないが、フリースクールが不登校児童生徒の学びの場として利用されている事例もあることから、今後事業者と連携を図りながら、子どもたちの教育支援を進めていく。

路線バスの課題と対策

問 現在の路線バスの運行に対する主な市民の声としては、①最終便の時間が早まっている、運行便の間隔が広がっている、②バス乗降時の不安解消のため低床型ステップを望む、このような要望があるが、これらの是正に向けた取組の考え方を伺う。また、③バス事業において最も重要な点は、利用者に対する利便性の向上と、一方で事業者の採算性も考慮しうる平衡的向上策を捻出することだが考え方を伺う。

答 市長 ①本市においてもバス運転手不足により減便が生じている状況にあり、市としては、減便の対応として、バス運転手の確保が喫緊の課題と捉えていることから、引き続き、その解決に向けて積極的に取り組んでいく。②市では、平成29年度から避難用車両の

整備を行っている。これは平常時には路線バスとして活用しており、整備にあたっては、利用者が安全に安心して乗降できるよう、全てノンステップバスとしている。またバス事業者が所有している車両についても、更新する際にはノンステップバスを採用しているところではあるが、一部の車両は未対応となっていることから、利用者が安心して路線バスを利用していただけるよう引き続きバス事業者と協議していく。③近年は運行経費の増大による採算性の悪化やバス運転手不足による減便など利便性の低下が課題となっている。市としては、公共交通はまちづくりの根幹を支え、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段として重要な社会資本であると考えており、今後もバス事業者をはじめ、関係機関と連携しながら、加速する運転手不足の課題に対応するなど、持続可能な公共交通の実現に向け取り組んでいく。



無所属クラブ
(維新・市民)

丸岡 伸幸
議員

向陽台つばさ公園 パークゴルフ場

問 去年12月定例会の一般質問でコースの整備を要望した結果、市民の皆様は、今年はいつもの年よりも良いコンディションで楽しんでいると言っていました。要望どおり、コースの芝の適正維持管理がされている結果かと思う。しかし、築山からプレーするコースの階段から足を踏み外してケガをした人がおり、①このような事故を防止するために階段のあるコースには手すりを付けたら、コースの待機場所を作るなどについて、市の見解はどうか。②駐車場が満車の時、公園の脇に駐車するこ

ととなるが、Bコースの1番ホールから野外卓やベンチにつながる場所に階段を設置できれば、とても便利になるが、何とか設置できないか伺う。

答 市長 ①築山のコースは、斜面の中腹からグリーンに向かって打ち下ろすレイアウトになっており、ティーンショット後、階段を使わず芝生の斜面を下ることがあり、その際に滑って転倒することがあったと聞いている。このことから、まずは、芝生の斜面を通らず階段を使って移動していただくよう看板を設置したいと考えており、手すりの必要性についてはプレーへの影響が考えられることから、利用者の意見をよく伺っていく。②新たに階段を設置することは、管理人室で受付をせず入退場することが可能となり、管理上支障となることから、管理人室の前を通る現状の出入口を利用いただきたいと考えており、現状において新たに階段を設置することは考えていない。

とびたて・ちとせ航空貨助成と 新千歳空港応援商品券

問 令和4年に千歳市は、市民の航空利用の増加を図るため、市民を対象に航空貨の助成について第1弾、第2弾、第3弾と行ったが、第3回搭乗分の申し込みは上限の1万件に達したため途中で締め切りとなった。①空港開港100年記念に向け、第1弾は自衛隊員及び自衛隊家族を優先に、第2弾は市民に航空貨助成を行うことを提案する。②新千歳空港応援商品券を空港開港100年の記念商品券として発行できないか伺う。いろいろな面で空港開港100年をPRしていくべきかと考える。

答 市長 ①「とびたて・ちとせ航空貨助成事業」は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、航空需要が減少していた背景から、航空需要を喚起し、市民の航空利用の増加を

図り、新千歳空港の活性化を目的として、令和4年度に実施した事業である。一方、空港開港100年記念事業は、千歳市空港開港100年記念事業実行委員会が定める3つの基本方針に沿って事業の検討を進めているところであり、この方針を踏まえながら、幅広い観点から検討していく。②空港開港100年記念事業として、記念商品券という形で発行することについては、市や実行委員会では、空港開港100年を市民に広く周知し、その意義を共有するための様々な事業を実施し、認知度も向上してきているものと認識しているところである。事業の実施にあたっては、同様に、空港開港100年記念事業実行委員会の基本方針を踏まえながら、幅広い観点から検討していく。今後も、市民がまちの発展と空港の歴史を実感できる事業の実施に向けて、引き続き、実行委員会と連携し、記念事業を検討していく。



ちとせ未来クラブ

佐々木 昭
議員

道路行政

問 ①生活道路整備状況で新しい地域と古い地域の整備に差があり、古い地域では路肩を整備せず砂利や雑草の状

態である。子どもやお年寄りや車いすの方が退避する場所でもあるため通行できず危険だと思いが路肩を整備しない方針について伺いたい。②ライフライン工事における道路復旧後の凹凸について、管理基準と復旧後の確認は行っているのか伺う。③街路樹剪定について建築限界線を越えている枝葉について速やかな対応ができているのか伺う。

答 市長 ①生活道路の整備は、昭和51年頃から本格的に整備を行ってお

り、令和6年度に見直しを行った千歳市道路施設維持修繕計画では、修繕段階とするレベル3の生活道路が33・5キロあることから、これらの道路を重点的に改良・修繕を行うこととしている。現状では予算確保等の課題があることから、施設帯のみを整備する予定はないが、生活道路の整備の際には、車道の改良とともに施設帯を整備していく。②千歳市道路掘削及び路面復旧工事業綱を定め、占用者に対し埋戻し方法や仮復旧、路面復旧等について

示しており、施工管理については、この要綱のほか、北海道土木工事共通仕様書に基づき行うよう指導している。③市では剪定の基準として、交差点付近における車両からの見通しや歩行者空間の確保、照明灯や標識などに支障が生じないよう剪定を行うこととしている。市民からの通報を受けた際には、市職員が速やかに現地を確認し対応しており、緊急対応が必要と判断した場合は、委託業者に連絡し、昼夜問わず現場対応している。

公園整備

問 ①公園の外柵整備についてお年寄りが出入りしやすい置き石タイプのような公園整備が少しずつ広がっている。今後も公園整備計画のなかで考慮していただけるのか伺う。②春日公園のボール遊びと遊具が混在している場所においては区域を区切るネットなどがあると安全ではないか、所見を伺う。

答 市長 ①公園の外柵については、公園と周辺道路や民有地等との境界を明示することや車両の進入を防止すること、公園の出入り口を明確にすることなどを目的に設置しており、本市では、子どもの飛び出し抑止効果の高い鋼製ビーム柵や、出入りが容易な外柵石のほか、コンクリートやプラスチックなどの素材を使用した擬木柵などを、公園の場所や整備イメージ、柵の機能などによって選定している。外柵石については青葉公園やみどり台公園

など27箇所の公園等に設置しており、設置にあたっては町内会等の意見を伺いながら、基本的に外柵石を使用し、子どもの飛び出しや転落の恐れのある箇所については、ビーム柵などを使用することとしている。今後も公園施設の整備を行う際には、周辺道路の交通や隣接する土地との高低差などを踏まえるとともに、町内会等の意見を伺いながら、使用する外柵の種類などを選定していく。②春日公園には、キャッチボールなどのボール遊びができるよ

う運動広場を設けており、市では、運動広場に「試合形式のボール遊びはやめましょう」と書いた看板を設置し、注意喚起を行っている。現在は、他の利用者などに迷惑等がかからないよう周辺に配慮した使い方をしたいというものと認識していることから、現状において、フェンス等の仕切りを設置することは考えていないが、引き続き、運動広場の利用状況を確認し、必要に応じて対応を検討していく。



ちとせ未来クラブ
小川 陽平
議員

人口ビジョン

問 ①市の人口ビジョンと国との人口推計の乖離について、市の予測の客観的根拠を伺う。②人口予測計画の見直しについて、下方リスクを管理し、総合計画を見直す「動的な計画プロセス」を構築する考えはあるか。具体的な見解と、将来ビジョンの今年度の達成見込みを伺う。

答 市長 ①国立社会保障・人口問題研究所の推計と大きく差が生じている要因は、将来ビジョンにおいて算定した半導体産業の集積による影響を加味したことであり、具体的には、各企業へ

のアンケート調査やヒアリング、ラピダス社の工場増設を踏まえた推計、国勢調査を基に算定した、令和22年までの人口増加効果累計約7800人の上乗せしたことである。この結果、将来推計人口は、令和12年に10万人に到達する推計となった。②人口推計に対し、住基人口が下振れした場合に人口ビジョンを直ちに見直す考えはない。ラピダス社の量産体制の動向を見極めながら、次期総合計画策定前に、人口ビジョンの見直しの必要性を検討する。6月1日時点の住基人口は9万7075人となっており、将来推計人口における令和7年の総人口と比較すると、1219人の差が生じている。地価や家賃の高騰、工事関係者が市内の家賃住宅に居住していることで、転出傾向が強まったり、転入者が居住できないケースが生じていると推測しているが、作業員数がピークを越えたことや、賃貸住宅の建設が進んでいることから、

人口ビジョンの推計に近い形で増加に転じることを期待している。

学校給食

問 ①本市の給食は残食が長年の課題であるが、データ公開が約10年前で止まっている。食品ロス削減と食育の観点から残食率を定期的に調査・公表する仕組みを構築すべきである。また、平成27年以降の調査報告がない理由も伺う。②新給食センターの成果を客観的に評価するため、残食率を何%削減する、といった具体的な数値目標を設定するべきではないか。また、教職員にもアンケートをとるべきではないか。③現行の、連続10日以上欠席という給食費の減免ルールは、不登校児童生徒の多様な実態に合っていない。より柔軟な制度に見直すべきと考えるが、見解を伺う。

答 教育長 ①学校給食の残食量調査に

ついては、平成26年度及び27年度の2か年で各3日分の献立を対象に全小中学校で実施した。その後の残食率の調査については、毎日、小学校・中学校1校ずつ、残食率の測定を行っている。この残食率の調査は、献立作成に活用することを目的に行っているため、公表はしていない。②新学校給食センターでは、調理方法や献立の工夫の幅が広がるものと考えており、食材によって大きく異なる残食率を数値目標として設定する考えはない。教職員へのアンケートの実施は考えていないが、引き続き教職員からの意見等の聴取を行い、献立の改善に努めていく。③病気等により連続10日以上学校を欠席する場合、給食費を調整することとしている。食材料費は原則給食費によって賄っていることなどを踏まえ、現状では、食べた分だけの支払いとすることは難しいと考えているが、保護者の負担を減らせる方策がないか検討する。



日本共産党

吉谷 徹
議員

重点支援地方交付金の 活用・計画の考え方

問 令和7年5月27日付で国からトータル1千億円の重点支援地方交付金追加分メニューが示された。せつかくなら、支援を受けられるものはほとんど提案して支援を受け、お困りの団体や市民を下支え・一助を進めるのが、住民福祉の増進と向上を図ることを目的とする地方公共団体の代表である行政の役割ではないだろうか。ということ、フードバンク支援として支援物資の運搬にかかる燃料代、事務所維持の電気代補助ができないか、学校給食費値上げ分軽減に用いられないか、市営住

宅共益費に含まれる電気代等軽減に用いられないか、市民生活応援商品券の第2弾、3弾発行に用いる計画を立てないのか、などを伺う。

答 市長 当該交付金はエネルギー価格や物価の高騰による市民生活や地域経済への影響を踏まえ、国において創設されたものであり、市民生活を支えるための重要な財源となるものと認識している。現在、市では、当該交付金を活用し、市民生活の支援と、地域経済の活性化を目的とした、ちとせ市民応援商品券2025事業を実施しており、市民1人につき5千円分の商品券を配付し、今月14日から11月30日までが利用期間となっている。先般、国において、推奨事業メニュー分として1千億円の増額が措置され、本市には3222万8千円の交付限度額が配分された。多岐にわたる提案について、現時点においては当該交付金の活用可能な事業を精査している段階であり、

子どもの遊び場 (屋内施設)の考え方

問 市民からは、子どもの遊び場がなくて札幌や長沼まで行っている、恵庭と同一料金で施設を使えるのは良いが千歳に遊び場がほしい等の声をいただき、市民の困っている声を行政へ届け、街の現状の改善を促すのが議員の役目であると考えられるため、市民要望のあった、①市は子どもの遊び場をいつ頃設置するのかの具体的な時期について。②保護者が恵庭以外の近隣施設も利用していることを考慮し、苫小牧、長沼、北広島、札幌等の近隣地域とも連携し低めの一律料金で利用できるよう協力依頼ができないか、これらについて伺う。

市としては限られた財源を最大限に活かすべく、今後、地域の実情や市民ニーズを十分に踏まえながら、有効な活用策について検討し、必要な対策を講じる。

答 市長 ①子どもの遊び場の設置については、公共として市が関わる必要があると考えており、早期の実現に向け、その整備手法等を含め、検討している。②恵庭市の子どもの屋内遊び場の千歳市民利用の際の割引に関する事業の取組については、生活圏を共有する両市市民への行政サービスや利便性向上などに努めるための連携事業として実施している。他の近隣自治体等の施設について、同様の割引利用に関する取組を検討することも方法の一つではあるが、市としては、恵庭市との連携事業の継続とともに、まずは、市内での早期設置について、注力していきたいと考えている。

- その他の質問
- ・市内道路の補修
- ・小学校の授業体制



参政党

今井 ひろみ
議員

米飯給食の推進

問 千歳市の給食には千歳、恵庭産のゆめびりかを使用している。せつかく千歳、恵庭で取れるお米があるので子

どもたちには毎日お米を食べてもらいたいと思う。①現在、3回のご飯の日を5日の米飯給食にすることは出来ないのか伺う。②これまで給食について、子どもたちへのアンケートを取っていたのは知っているが、市民、またはお父さん、お母さんからのアンケートは取ったことはあるのか、もし、あればどのような意見があったか伺う。③今、物価高騰の中で、給食の質が下がることや量の減少が懸念されているが、どちらも担保されているのか伺う。④今

後、オーガニック食材を活用した質の高い給食が求められていくと思うが、市の見解を伺う。⑤給食の米飯給食を推進することで日本の食文化を学ばせることが出来ると思うが、学校現場ではどのような食育がなされているのか伺う。⑥地産地消の視点から地元食材を使用することについて千歳産のお米はどのくらい使っていて、100%地産米を使用するためにはどうすればよいのか、そして、千歳産米の生産者の方が安心して生産出来るよう行政

として市場価格との差額を補助するなどの施策も必要ではないかと思うが、所見を伺う。
答 教育長 ①平成21年の文部科学省通知により、米飯給食の実施回数を週3回以上とする目標が設定されているところであり、本市の学校給食では、現在、主食としてご飯を週3回、パンと麺類を週1回ずつ提供している。パンや麺類を提供することで、バラエティに富んだ献立の提供が可能となっていることなどから、今後も現在の主食

回数を継続していきたいと考えている。②学校給食センター運営審議会や献立作成委員会の委員として委嘱した保護者の方々からメニューなどに関する意見をいただき、学校給食へ反映させている。③近年の急激な物価高騰などの対応として、令和4年度から学校給食用食材の購入費の一部を公費負担することで、学校給食のエネルギー量や栄養価が低下しないように対応しており、令和7年度も引き続き一部公費負担を行うことで、児童生徒に必要な

水準の学校給食を提供することとしている。④オーガニック食材については、農業や化学肥料に頼らない栽培方法による、有機野菜などの食材といわれており、本市では1日に約8500食分の給食を提供しており、数量の確保や価格の面から、オーガニック食材を学校給食に使用することは難しいと考えている。⑤米飯給食の推進と食育については、一般社団法人「和食文化国民会議」では、11月24日を「和食の日」として、日本の食文化である和食を楽

しみ、その価値を改めて考える日としている。本市においても「和食の日」の取組として、昨年11月には、各地の郷土料理であるさつま汁や沢煮椀を提供するとともに、給食だよりにおいて、提供した各地の郷土料理の特徴や、だしのうま味について記載するなど、子どもたちが日本各地の伝統的な食文化を学ぶ良い機会になったものと考えている。⑥米の購入については、公益財団法人北海道学校給食会を通して行っている。令和6年度では、千歳産の米

が60%、恵庭産の米が40%であり、絶対量を確保できないことから、現状では、全てを千歳産とすることは難しいと聞いているが、今後も千歳産の米を確保できるよう努めていく。また、給食と米生産者との関係については、教育委員会は、北海道学校給食会から供給される立場であり、生産者との関係に関与する立場になく、米の価格などについては、第一義的には国により対応されるものと認識している。



無所属
北山 敬太
議員

市道日の出大通的駐車規制

問 市道日の出大通は、4車線あつて比較的通行量も多い通りだが、駐車禁止区間に指定されておらず、最近この通りに駐車している車両を見かけるようになった。近辺では複数の建築工事が行われており、放置すれば渋滞や事故を誘発する危険性もあるが、①日の出大通が駐車禁止区間に指定されていないことについて市の認識を問う。②北海道公安委員会に対して規制要請を行う考えはあるか。迷惑駐車を規制できない場合、同様の路上駐車が繰り返され、模倣されるおそれもある。③路

上駐車を抑制するための広報や啓発看板の設置など、対応策を講じるべきではないか。
答 市長 ①日の出大通については片側2車線であり、比較的道幅が広くなっている道路状況から、北海道公安委員会においても基準に基づき規制を行っているものとの認識している。②日の出大通に関しては、現在、町内会や学校、PTAなどから要望を受けていないが、今後、これらの団体から要望を受けた場合には、千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会の通学路交通安全対策専門部会で要望箇所の現地確認を行い、交通規制要望の検討を行っていく。③路上駐車により交通に支障が出ているとの苦情が寄せられた場合には、千歳警察署へ通報し、現地の取り締まりや巡回指導の実施を要請している。市としては、警察署にパト

ロールや取り締まりを要請することも、広報ちとせや市公式SNSを活用

して、迷惑駐車や長時間駐車の防止に関する周知啓発を行っていく。

向陽台地区の商業施設

問 文京地区にお住いの市民から次のような要請を受けたのでお尋ねする。「泉沢向陽台地区が造成された際、現在のコープさっぽろと市は、向陽台区に他のスーパーを出店させないことで合意したと噂されている。それがいまだに生鮮食品を扱う店舗が他にできない理由と聞いているが、①実際にこのような協定は存在するのか。②小規模でもこの地域に生鮮食品を扱う商業施設が新たに立地可能な状況にあるのか。③市として今後、該当する商業施設の誘致を行う意志があるのか確認してほしい」以上、地区住民の疑問に対する市長の見解を伺う。

答 市長 ①食品スーパー用地については、昭和58年中に開業すること、店

舗面積は1棟が700平方メートルを下回らないこと、という建築制限をつけて申込受付を行い、現在も営業を続けている事業者に分譲することとなった。分譲要領や土地売買契約書のいずれにおいても、同業他社の立地を制限するような取り決めは行っていない。②向陽台地区は大規模な店舗が立地できる未利用地は少なく、新たな大規模店舗の出店は難しくなっているが、大規模ではない食品スーパーについては未利用地において立地が可能である。③商業施設の出店は、商圏内における需要や同業他社の出店状況などをみながら、民間事業者が自らの責任のもと、判断するものと考えている。既に向陽台地区において食品スーパーが営業されている現状を踏まえると、市が既存の市内事業者と競合する他の民間事業者を、積極的に誘致していく状況にはならないものと考えている。

《会派構成》

現在、議会の会派構成は4つの会派と諸派2名、無所属4名となっています。

議長および副議長は議会運営の公正を期するため、任期中は所属会派を離れ無所属となっています。

議長（無所属）

松倉美加

副議長（無所属）

仲山正人

自民党議員会（8名）

会長	山	口	康	弘
副会長	大	山	益	巳
幹事長	岩	満	順	郎
政調幹事	渡	部	謙	太
総務幹事	北	原	偉	昌
	古	川	昌	男
	佐	々	雅	俊
	山	崎	昌	宏
				則

公明党議員団（3名）

代表	宮	原	伸	哉
幹事長	今	野	正	恵
副幹事長	平	川	美	由
				紀

無所属クラブ（維新・市民）

代表	丸	岡	伸	幸
副代表	坂	野		智

ちとせ未来クラブ（2名）

代表	佐	々	木	昭
幹事長	小	川	陽	平

日本共産党（諸派）

吉谷 徹

参政党（諸派）

今井 ひろみ

無所属

梅	尾	要	一
落	野	章	一
北	山	敬	太
相	沢	晶	子



無所属

相沢 晶子
議員

道央廃棄物処理組合

問 ①道央廃棄物処理組合は、現在千歳市、北広島市、南幌町、長沼町、由仁町、栗山町が参加し、合同での廃棄物処理を進めている。しかし、1997年に北海道が計画した「ごみ処理の広域化計画」では、千歳市は単独で処理をして良いとされていた。広域処理での連携を必要とされた2市4町に入っていた恵庭市が脱退したのち、道央廃棄物処理組合に千歳市が参画した経緯を伺う。②道央廃棄物処理組合は、現在焼却のみを2市4町で実施しているが、今後は焼却灰を一緒に最終

処分場へ受け入れることとなった。この、最終処分場候補地の決定までのプロセスを伺う。③最終処分場候補地について、市議会で諮るのか伺う。
答 市長 ①恵庭市や北広島市などの道央ブロックにおいて、平成11年度に道央地域ごみ処理広域化推進協議会を設立し、その後、平成22年度に恵庭市が単独でごみ処理を進めることとなり、23年度に本市に対して協議会参加の要請がなされた。本市としては広域処理によるメリットがあることから、平成24年度に同協議会へ加入した。②令和4年度に立地困難区域図を作成し、5年度・6年度は複数の候補地案を作成した。7年度は諸条件の精査や構成自治体との協議などを行い、8年度に候補地の決定を行う予定である。③構成自治体の議会議員で構成する組合議会で協議・決定する予定としており、内容については、逐次、本市の所管委員会に報告していく。

空港の環境整備

問 ①新千歳空港のあたりは分水嶺にあたることから、そこで使用された水や雨水については、千歳川、美々川のどちらにも流れ込む可能性があること認識している。また、空港や基地においてはPFASを含む泡消火剤が使用されている可能性があることから、環境への影響を懸念する。空港の排水はどのように処理されて、どこに流れているのか。空港の雨水や滑走路の排水の概要について伺う。②空港排水の水質管理について、下水道に流入しない空港の排水はどこが管理しているのか。また、空港排水の水質基準はどのように定められているのかを伺う。③国の計画である新千歳空港脱炭素化計画には、空港の周りに太陽光パネルが設置されることが記載されている。太陽光パネルにはさまざまな懸念があるが、

こうした計画を市民に伝えるべきと思うがいかがか。
答 市長 ①空港の雨水や滑走路の排水は、空港内の調整池を経由し美沢川に流され、その後、美々川に合流している。調整池では空港排水を一時的に貯留し、希釈や自然分解によるBOD値の低減対策を行い、美沢川に流されている。②下水道に流入しない排水は北海道工アポートが管理している。新千歳空港では美々川の水質基準値に影響がないよう国が設置した「雪を利用した環境施策検討会」で、調整池から排水する際の目標管理値として、基準とするBOD値が定められている。③新千歳空港の脱炭素化推進等の取組は空港で活動を行う各事業者が計画に基づき進めるものであり、国や北海道工アポートが進捗管理や公表を行うものであるが、今後、市HPにも掲載する。

その他の質問

・フピダス社の地下水利用

令和6年度 政務活動費収支報告

政務活動費の交付概要

◎政務活動費とは◎

- 千歳市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市議会の会派または会派に所属しない議員に対して交付するものです。

◆交付額◆

議員1人あたり年額20万円

◆交付方法◆

会派（所属議員が1人の場合を含む。）交付とし、残余が生じた場合は、その額を返還することになります。

◆収支報告書・領収書の公開◆

収支報告書・領収書の内容は、市議会ホームページで公開しています。

※市議会では、政務活動費の具体的な運用上のルールや取り扱いを定めた「政務活動費の運用基準」を策定し、市議会ホームページで公表しています。

市議会ホームページ
令和6年度政務活動費収支報告 ⇒



各会派等の収支報告内容

	交付額 (円)	収入額 (円)	支出額(円)									返還金 (円)	
			調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳 情活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	支出 合計		
自民党議員会	2,200,000	※796	563,804	88,344				709,096				1,361,244	839,552
公明党議員団	800,000	※294						218,865		6,409		225,274	575,020
日本維新の会・ 新党大地	200,000	※76			159,500					33,544	3,150	196,194	3,882
日本共産党	200,000	※94										0	200,094
無所属 落野章一 議員	200,000	※93						59,939		1,860	6,400	68,199	131,894
無所属 北山敬太 議員	200,000	※41								11,000	56,540	67,540	132,501
無所属 松隈早織 議員	200,000	※47		27,500							46,002	73,502	126,545
無所属 相沢晶子 議員	200,000	※85	64,246		57,750				1,320			123,316	76,769
無所属（議長） 坂野智 議員	200,000	※16			198,000							198,000	2,016
無所属（副議長） 五十嵐桂一 議員	200,000	※79						56,880				56,880	143,199

※収入は預金利子

主な支出内容

- 調査研究費：「指宿市観光スポーツ施設調査視察」（鹿児島県）
- 研修費：「第16回日本自治会創造学会研究大会（個性と魅力ある自治体づくり）参加」（東京都）
- 広報費：「活動報告紙作成」
- 要請・陳情活動費：「千歳市の自衛隊体制維持・強化に関する夏季中央要望」（東京都）
- 会議費：「近隣自治体議員意見交換会（小中学校のエアコン設置事業 他）会場使用料」
- 資料作成費：「点字印刷資料作成」

各常任委員会 議会運営委員会の 委員は次のとおりです。

本定例会において、新たに各常任委員会と議会運営委員会の構成が次のとおり決まりました。

総務文教 常任委員会 委員数8人

委員長	大 山 益 巳
副委員長	渡 部 謙 太
委員	山 口 康 弘
委員	宮 原 伸 哉
委員	丸 岡 伸 幸
委員	小 川 陽 平
委員	梅 尾 要 一
委員	北 山 敬 太

厚生環境 常任委員会 委員数7人

委員長	今 野 正 恵
副委員長	相 沢 晶 子
委員	山 崎 昌 則
委員	岩 満 順 郎
委員	仲 山 正 人
委員	今 井 ひろみ
委員	落 野 章 一

産業建設 常任委員会 委員数7人

委員長	北 原 偉 男
副委員長	平 川 美 由 紀
委員	古 川 昌 俊
委員	佐々木 雅 宏
委員	坂 野 智 智
委員	佐々木 昭 昭
委員	吉 谷 徹 徹

議会運営 委員会 委員数10人

委員長	岩 満 順 郎
副委員長	吉 谷 昌 俊
委員	古 川 口 康 弘
委員	山 大 宮 益 伸
委員	今 野 正 哉
委員	小 川 陽 平
委員	梅 尾 要 一
委員	相 沢 晶 一

議会事務局からのお知らせ

議会の予定

令和7年第3回定例会は、9月18日(木)に開会する予定です。正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内



市議会のホームページには、市議会のさまざまな情報を掲載しています。

写真やイラストを募集しています!

市議会だより(年4回:2・5・9・12月発行)の表紙を飾る写真やイラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがあれば、ご応募をお待ちしております。

問い合わせ先

千歳市議会事務局 総務課 調査係
 TEL 0123-24-0791 (直通)
 E-mail:gikaisomu@city.chitose.lg.jp

点字・音声版「ちとせ市議会だより」を知っていますか?

文字による情報を利用することが困難な方に、ちとせ市議会だよりの点字版・音声版を作成しております。希望される方は点字図書室までお問い合わせください。

問い合わせ先

千歳市総合福祉センター2階
 点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

令和7年5月の千歳市議会議員選挙を終えて、新人議員を含めてあらたな編集委員7名により今回の議会だよりを編集しました。

千歳市では一昨年ラピダスの工場建設が始まり、本年4月には試験ラインの稼働を開始して「半導体のまち」へ変化をとり、また、2026年10月には空港開港1000年を迎える「そのまち」としても発展しております。

本紙をとおして、市民の皆様到我々議員の活動状況を丁寧にお伝えすべく委員各位努力してまいりますので、今後とも議会だよりの愛読をよろしくお願い申し上げます。

(編集委員長 岩満 順郎)

議会報編集委員会

委員長	岩満 順郎
副委員長	吉谷 徹
委員	渡部 謙太郎
	今野 正恵
	小川 陽平
	今井 ひろみ
	相沢 晶子